

総合仏教研究所公開講座

古代インド仏教の 修行における 知の位置付け

On the Place of Knowledge in ancient
Indian Buddhist Spiritual Practice

講演 **Martin Delhey** 講師

(ハンブルク大学 写本文化研究センター 常勤研究員)

[日程] 平成**26**年**9**月**26**日(金)

[時間] **14:50~16:20** (4時限目)

[場所] 総合仏教研究所研究室 1

(大正大学3号館4階)

本研究所では、ドイツ ハンブルク大学 写本文化研究センター 常勤研究員 マルティン・デルハイ(Martin Delhey)先生を講師にお迎えし、ご講演いただきます。予約不要および無料でどなたでも聴講できますので、ふるってご参加ください。なお、講演は英語で行われます。

【講義概要】インド仏教では修行を基本として知恵を得ることが原則である。それは日本仏教でも修行と教理は車の両輪のようなものであると言われるのと同じである。今回の発表では仏教発祥の地インドで、修行によってどのような形で修行者が知恵というものを獲得してきたのかについて文献の中で位置づけて行くことにする。

【お問い合わせ先】 大正大学総合仏教研究所 03-3918-7311 (代表)

<http://www.tais.ac.jp/related/labo/sobutsu/sobutsu.html>